

平成 29年 09月 04日

国土交通大臣 殿

地域型住宅グリーン化事業 適用申請書  
【平成29年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。  
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称 瀬戸内気候型住宅「土の家」

グループの名称 瀬戸内気候型住宅フォーラム

直近採択グループ番号 04-0738-0651

(グループ代表者)

代表者名 大西 泰弘 代表者印

代表者所属先 有限会社田園都市設計

代表者所在地 香川県丸亀市今津町

代表者電話番号 08-7785-5126

(グループ事務局)

事務局事業者名 有限会社田園都市設計

事務局担当者名 大西 泰弘 印

事務局郵便番号 763-0051

事務局所在地 香川県丸亀市今津町666番地

事務局電話番号 08-7785-5126

事務局FAX 08-7785-5127

事務局担当者E-mail yysk@niji.or.jp

1. 地域型住宅の名称(必須)	瀬戸内気候型住宅「土の家」
2. グループの名称(必須)	瀬戸内気候型住宅フォーラム
3. 直近採択グループ番号(必須)	04-0738-0651
4. 地域型住宅供給対象地域(必須)	香川県、山口県、大分県、愛媛県、徳島県、岡山県
5. 結成年(必須)	2012 年
6. グループ代表者名(必須)	大西 泰弘
7. グループ代表者の所属先(必須)	有限会社田園都市設計
8. グループ代表者所在地(必須)	香川県丸亀市今津町
9. グループ代表者電話番号(必須)	08-7785-5126
10. グループ事務局事業者名(必須)	有限会社田園都市設計
11. グループ事務局担当者名(必須)	大西 泰弘
12. グループ事務局郵便番号(必須)	763-0051
13. グループ事務局所在地(必須)	香川県丸亀市今津町666番地
14. グループ事務局電話番号(必須)	08-7785-5126
15. グループ事務局FAX番号(必須)	08-7785-5127
16. グループ事務局担当者E-mail(必須)	yysk@niji.or.jp

(構成員数)		(構成員を含まない理由)
I. 原木供給	10	
II. 製材・集材製造・合板製造	13	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	9	
IV. プレカット	5	
V. 設計	15	
VI. 施工	12	
VII. 木材を扱わない流通	0	
VIII. I～VII以外の業種	0	

A. 使用する地域材に関する事項 (必須)	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称		国内・国外
			番号記入欄		
<input checked="" type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> 合法木材証明制度を利用する <input type="checkbox"/> PEFC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> SGEC認証制度を利用する <input checked="" type="checkbox"/> FSC認証制度を利用する <input type="checkbox"/> FIPC認証制度を利用する		全国		3	国内
		国外		3	国外
		国外		2	国外
		全国		2	国内
		全国		2	国内
		全国		2	国内
	香川県産材	香川県	香川県産木材認証制度	1	国内
	山口県産材	山口県	優良県産木材認証制度	1	国内
	徳島県産木材	徳島県	徳島県木材認証制度	1	国内
	愛媛県産木材	愛媛県	中予地域木材認証制度	1	国内

B. 平成29年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世帯同居対応加算要望戸数(必須)	長寿命型(長期優良住宅) 経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	長寿命型(長期優良住宅) 未経験工務店による申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (認定低炭素住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)		2	戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)	2	戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
	高度省エネ型 (性能向上計画認定住宅)の申請戸数	申請が確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸		
		申請が未確定(上限100万円)			戸		
		加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸		
			上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸		
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 経験工務店(4戸(8戸)以上)による申請戸数	申請が確定(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限150万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
高度省エネ型(ゼロ・エネルギー) 未経験工務店(4戸(8戸)未満)による申請戸数	申請が確定(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が確定(上限30万円)		戸			
	申請が未確定(上限165万円)			戸			
	加算申請	上記の内、地域材加算の申請が未確定(上限20万円)		戸			
		上記の内、三世帯同居加算の申請が未確定(上限30万円)		戸			
C. 平成29年度当初予算における補助対象の 優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	申請が確定	0棟	/			
			0㎡				
		申請が未確定	2棟				
			230㎡				
D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者に おける補助対象戸数の配分ルール(必須)	先着順とする。						
E. 平成28年度の執行状況(必須)	長寿命型(長期優良住宅)						
	当初予算	採択戸数	1戸	交付申請戸数	1戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	1戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(認定低炭素住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(性能向上計画認定住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	高度省エネ型(ゼロ・エネルギー住宅)						
	当初予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
	補正予算	採択戸数	戸	交付申請戸数	戸	完了実績(竣工予定含む)戸数	戸
優良建築物型							
当初予算	採択棟数	棟	交付申請戸数	棟	完了実績(竣工予定含む)棟数	戸	
当初予算	採択床面積	㎡	交付申請床面積	㎡	完了実績(竣工予定含む)床面積	㎡	



















1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸内気候型住宅「土の家」	(地域型住宅供給対象地域) 香川県、山口県、大分県、愛媛県、徳島県、岡山県
2. グループの名称・結成年(必須)	(グループの名称) 瀬戸内気候型住宅フォーラム	(結成年) 2012 年
3. 過去のグリーン化事業採択グループ番号(必須)	04-0738-0651	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取り組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ア. 特徴ある地域型住宅の目標設定		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	日照時間が長く、年間を通じて気候が温暖な「瀬戸内海式気候」の地域に本グループは位置し、地域の気候特性に適した「小さなエネルギー」で暮らす住宅を提案している。深い庇で雨や日照をコントロール、外に開いたカタチで通風と景観調和を確保、土壁で壁内結露や湿度の問題を解決するなど、地域の気候風土にあった、小エネルギーでの快適性、建物劣化の低減、地域景観との調和等を、重視した性能を有する。	○
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	「竹小舞土塗壁」又は「土系材料塗り仕上」を用いた室内湿度の安定に配慮した住宅とする。内装には湿気容量の大きい木材や土系素材などを用い、湿度が安定した室内環境を得ることができる仕様とする。また、庇による夏期日射の制御、通風の確保、植栽など、地域の気候にあった小さなエネルギーで暮らすための技術を取り入れたものとする。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	住宅は外に開いたカタチとなるよう計画する。公私の境界が柔らかなデザインとなるよう工夫し、外観は周辺の景観に調和し地域の共感が得られるものとなるよう計画する。これらの計画方針や内容を整理した配慮事項説明書を作成する。	○
④①～③の背景	瀬戸内海を囲むこの地域は、背後に山脈を背負い、日照時間が長く、温暖小雨といった共通の特徴を持つ。この気候をもたらす後背山地は都市部への水の供給源でもあり、木材の生産が活発である。花崗岩の地質帯にあり良質な粘土や石材が広範囲に存在する。本グループは、地域材の規格化、流通、施工技术等に多くの実績を持つ技術者を中心に構成し、ほぼ全ての部位に地域材を使った住宅づくりを長年にわたり行ってきた。また土壁に関する耐力性能、省エネルギーに関する研究や実務実績も多い。これら技術や経験を、今後の地域の住宅生産体制を担う職人技術者など中小事業者への普及等を目的にグループは結成された。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	暮らしスタイルの変化に対応できる、住み継ぐことに配慮した計画とする。 ロングライフ・デザインを目標とし、建物の劣化対策に加えて建物の可変性が重要と考える。	○
イ. 効率的な住宅生産体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
①-1 用材の寸法規格化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループの「規格材の考え方」に従い、設計～木材供給～施工まで全工程で「構造部位別共通番号」を使用する。各工程の責任者が構造部位など木材の品質情報を共有し、品質維持、流通管理の向上を目指す。	◎
①-2 使用建材の統一	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: グループの「規格材の考え方」に従い、製材・流通などは構造部位別の材料の安定供給に努める。設計・施工は木材供給を容易にするよう、規格材による仕様となるように努める。	○
①-3 標準仕様の設定	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 本グループが開発した土壁充填断熱など外皮断熱仕様を共有している。	◎
②-1 建材・資材調達の見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
②-2 調達事務の合理化	<input type="checkbox"/> 行っていない <input checked="" type="checkbox"/> 行っている → 内容: 木材の規格化と部位別共通番号の使用により、選木、製材、乾燥、現場までの品質管理、設計と現場の合理化を進める。	○
③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> 行っていない <input type="checkbox"/> 行っている → 内容:	
④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 木材の規格化については、パンフレットや実施事例等を用いて、実施方法の普及や指導を行う。	○
b.		
① グループの信頼性向上に向けた施工基準	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 素材の品質について、木材は履歴情報を明確にする。土壁強度性能はできる限り壁土強度試験で必要性能を確認する。	○
② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造施工時、完了時には、会員による現場検査を行い、事務局に報告する。	○
③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 見積書は、材料費、人件費、諸経費を出来る限り分離し、その内訳を詳細に記載する。品質と価格の関係を分かりやすくするとともに、工事変更などにおけるトラブル等を回避する。	○
④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的な取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 省エネルギー性能、耐震性能において、研究期間と共同で研究開発を進める。断熱仕様、構造設計の改善など進める。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸内気候型住宅「土の家」	(地域型住宅供給対象地域) 香川県、山口県、大分県、愛媛県、徳島県、岡山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 瀬戸内気候型住宅フォーラム	(結成年) 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0738-0651	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。 ※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。		
ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 住宅履歴情報の蓄積		
①-1 内容・蓄積の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 住宅履歴情報は、建て主、設計者、施工者の3者が保存管理する。	◎
①-2 情報サービス機関の活用	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
①-3 履歴情報蓄積の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 改修等行った場合は、履歴修正を事務局に報告する。	○
② メンテナンス基準の整備		
②-1 点検の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 建物の可変性に十分に配慮し、家族や世代が変わっても長く使う部分と、交換が必要となる部分を明らかにし、点検や維持管理が容易に行えるよう計画する。	○
②-2 補修の共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
②-3 点検補修実施の確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 維持管理実施計画に従い定期点検を行う。	◎
③ 住まいの管理		
③-1 住まい管理勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 DIY体験会等の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-3 その他の相談会等の実施	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 県単位で一般向け講習会などを開催する。	○
④ 維持管理委員会等の設置	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
⑤ その他の維持管理の手法	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
① グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 出来る限り出来高精算による支払い方式を採用する。問題発生時には、各県ごとに施工と設計の会員が中心にこれにあたる。	○
② 過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		
エ. グループの技術力の向上		
【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a		
① 未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: メンバー以外の若手職人や設計者など、現場見学棟により技術者育成の講習会などを開催する。また、若手大工や左官を対象に、工事中や完成時の見学会・意見交換会を開催する。	◎
②-1 品質管理のための共通ルール	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 材料の品質性能を試験等で確認、施工は記録を保管する。	◎
②-2 上記共通ルールが守られていることの確認手法	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 構造完成時、竣工後の見学会で会員が確認する。	◎
③-1 需給計画の策定	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
③-2 技術力向上のための中長期的な計画	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 少なくとも1回の、全国の会員が集まる見学講習など機会を設ける。	○
④ ③に基づく業種ごとの合理化の取組	<input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある → 内容:	
b		
①-1 省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数      今年度の参加目標人数      3	○
①-2 省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数      今年度の参加目標人数      (施工事業者と請負技能者は同じ)	
② 省エネ技術講習会への参加促進のための取組	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 各県の事務局が、講習会開催案内のお知らせ	○
c		
① 新たな技術等の導入	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新基準に適合した土壁充填断熱の仕様を協力研究者と共同で開発している。土壁耐震性を向上させる壁土配合法を大学と開発している。	○
② 新たな技術等の開発	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="checkbox"/> ある → 内容: 新たな省エネ基準に適合する土壁住宅仕様を策定する。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 瀬戸内気候型住宅「土の家」	(地域型住宅供給対象地域) 香川県、山口県、大分県、愛媛県、徳島県、岡山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 瀬戸内気候型住宅フォーラム	(結成年) 2012年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0738-0651	

4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み ※記入した内容において「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。  
※住宅と建築物(非住宅)の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
a	地域材利用に関する ① 共通 ルール(必須)	◎
	② 地域材利用の1棟当 たりの割合(必須)	◎
	③ 標準的な地域材の使 用部位(必須)	◎
	④ 地域材の流れ(フロー図) などグループの取組に 関する補足説明	
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	◎
	①-2 地域材価格の共有の仕組	○
	② グループ全体における地 域材の需給予測	
c	①-1 畳の活用	
	①-2 和瓦の活用	
	①-3 襖の活用	
	①-4 障子の活用	○
	②-1 その他地域の伝統的な素 材の活用	◎
	②-2 その他地域の伝統的な意 匠の活用	○
d	① 地域の伝統的なデザイ ンを継承する取組	○
	② 地域の住まい方の継承に つながる取組	○
	③ 地域の街並み形成へ寄 与する取組	○
	④ 和の住まいの要素を取 入れた取組	○
	その他 ※上記項目以外でグループ独自の ルール・目標があれば記入 してください。	

カ. その他

【平成29年度対応方針】		◎、○ 記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	<small>(地域型住宅の名称)</small> 瀬戸内気候型住宅「土の家」	<small>(地域型住宅供給対象地域)</small> 香川県、山口県、大分県、愛媛県、徳島県、岡山県
2. グループの名称・結成年月(必須)	<small>(グループの名称)</small> 瀬戸内気候型住宅フォーラム	<small>(結成年)</small> 2012 年
3. 過去のブランド化事業採択グループ番号(必須)	04-0738-0651	
4. 地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み		
<p>キ. グループが取組む木造住宅・建築物の特徴                  ※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。                  ※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小さなエネルギーで暮らせる家                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・通風と日照を大切に考える</li> <li>・土と木の性能を生かし、室内の温度と湿度を和らげる</li> </ul> </li> <li>2. 土と木でつくる構法の美しさと合理性を活かした家                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・線と面で日本の住まいの美しさを表現する</li> <li>・柱や梁など構造を現すことで生まれる利点を生かす</li> </ul> </li> <li>3. 世代を超えて住み継ぐ家                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な暮らしができる可変性ある計画とする</li> <li>・湿度が高い日本の気候にあった耐久性ある仕様とする</li> </ul> </li> </ol>		

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。